

3月21日は**国際森林デー**（International Day of Forests）です!!

2012年に開催された国連総会において、森林や樹木の重要性について意識を高める記念日として、毎年3月21日を「**国際森林デー**」と定めることが決議されました。



ご存知ですか？

毎年3月21日は**国際森林デー**



国際森林デーとは、森林や樹木に対する意識を高め、自然環境の重要性について考えるための国際デーのひとつです。

森林は陸上生物の80%を養っており、生物多様性を維持するうえで極めて重要です。

60,000種以上の樹木が森林地帯を形作り、少なくとも1億人もの人々が食料、住居、エネルギー、収入を直接、森林に頼っています。

森林を持続可能な方法で管理し、必要に応じて回復させることは、人間と生物多様性、そして気候にとってとても大切なことです。

世界の人口の半数以上が都市に住んでいて、2050年にはその割合は70%にも達すると予測されています。

森林は、空気、土壌、水、そして人々の健康の維持を助けます。また、気候変動や飢餓撲滅など、私たちが直面しているいくつかの最重要課題に取り組む上で、森林は極めて重要な役割を果たしています。

気候変動対策へ向け、世界は脱炭素化のための具体的な対策を模索していますが、その際、温室効果ガス排出の削減だけでなく、海洋・土壌・森林による炭素の吸収・貯留が重要となります。

開発途上国では、主に農業開発を目的とした土地利用変化のため、森林破壊・その他攪乱要因が炭素排出源になっている中、**炭素の吸収・貯留における森林回復のための森林管理の役割は非常に大きい**といえます。

環境保護活動や各国の取り組みにより、森林面積の減少速度は鈍化しています。

しかし、森林の畑地化や燃料確保などのために、依然森林伐採が行われている地域もあり新たな問題を引き起こしています。

その大きな問題が、**森林伐採**です。

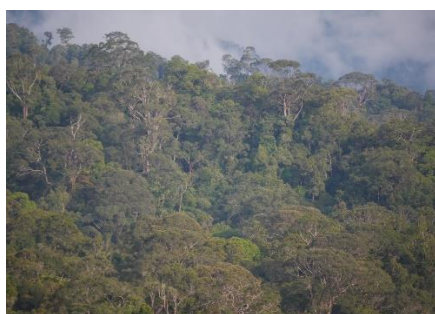
洪水の多くは、人災です。森林伐採、激しい雨による土砂の侵食、過剰放牧などすべてが生態系を壊す原因です。

また、森林伐採は洪水増加のおもな原因の一つであることが明らかになっています。

しかし近年、違法伐採が広範囲にわたって森を裸にし、多くの原木種を急激に減少させてしまいました。地域の様相を変えるような森林伐採が行われているのも事実です。

森林は、空気、土壌、水、そして人々の健康の維持を助けます。

また、気候変動や飢餓撲滅など、私たちが直面しているいくつかの最重要課題に取り組む上で、森林は極めて重要な役割を果たしているのです。



日本の国土面積に占める森林面積の割合を「森林率」といいますが、日本の森林率は約 66 %で、国土の約 3 分の 2 が森林です。世界の森林率は約 30 %です。

フィンランドやスウェーデンのように世界有数の森林国といえます。

森林には、渇水や洪水を緩和し、川の流量を安定させる水源かん養機能や土砂崩れの防止機能、雨水の浄化機能などがあります。

また、温室効果ガスである二酸化炭素を吸収・貯蔵するための地球温暖化の防止機能もあります。

そのため、我々には、これから未来に向けて森林を守っていく必要があります。

2022年3月22日

福岡ワンヘルス協議会・事務局